

## 令和7年度 共助のための防災活動補助金 対象事業一覧 (20団体)

No	団体名称	事業内容
1	特定非営利活動法人 こんにちは・国際交流の会	鶴見区及び近隣に在住の外国人に対し、年間を通し災害時や緊急時に落ち着いて対応がとれるよう施設体験型バスツアーをえた外国人向けの防災教室を開催する。
2	新日本婦人の会 鶴見支部	女性や子どもをはじめ、広く区民を対象として、災害への備えや避難所、子どもの防災、高齢者の防災など様々なテーマで防災学習会を月に1回開催する。
3	認可地縁団体 鶴見中央中町会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
4	鶴見東町会	町会において、災害時要援護者の安否確認を効率的に行うため、「安否確認目印グッズ」を要援護のご家庭に配布する。また、配布したグッズを使用して要援護のご家庭を訪問する訓練を行う。
5	鶴見町第二市街地住宅自治会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
6	地縁団体 豊岡第三町会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
7	認可地縁団体 鶴見上町会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
8	鶴見上町自治会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
9	別所自治会	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を町会に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
10	鶴見中央地区ペットの会	災害時におけるペットの避難を円滑に行うことを目的として、ペット及び飼い主の相互交流の場を設け、ペットフードの備蓄や避難方法の啓発を行う。
11	NPO法人ふれんどーる ふれんどーる絆	災害時に電力供給できる体制を確保するため、持ち運びができる非常用電源機器を施設に配備し、地域防災拠点訓練等で取扱訓練を実施する。
12	お母ちゃん学	子育て世代を中心としたサークルで、防災カフェやワークショップ、防災講演会を開催して地域で顔の見える関係づくりを目指すとともに、在宅避難のための防災冊子を作成するなどし、防災について楽しく学ぶ機会を提供する。
13	東寺尾北部町内会	前年度町内会地域内5箇所に設置した「在宅避難支援ステーション」に情報収集に欠かせないスマートフォン充電用のポータブル電源装置を設置し、使用訓練を行う。
14	寺尾地区自治連合会	地域特性と災害リスクを知り、防災意識の向上を目的として、地域内のAED設置場所や地域防災拠点、広域避難場所など防災関連施設を周るウォークラリーイベントを開催する。

15	岸谷第二自治会	自治会区域内の防災関連施設を住民に認識されるよう防災マップ掲示板の製作・設置を行い、また防災に対する意識向上を目的とした防災フェスティバルを開催する。
16	ニッ池自治会	発災時の住民による適切な避難行動が取れるよう避難場所案内板とリーフレットの製作・設置をし、またペットフードの備蓄を行いペットのための備蓄について自治会内での啓発を行う。
17	鶴見レスキューパウズ	区内で防災に携わっている方と連携して在宅避難とマンション防災についての講習会を開催し、在宅避難のための啓発チラシを作成する。また、ペット防災のための啓発セミナーを実施する。
18	キラーコンテンツ	避難場所や備えに関する知識の定着を図るため、専門家のアドバイスのもと鶴見区民をはじめ多くの方に見ていただくことを目的とした鶴見区の防災に特化した動画を作成し放映を行う。
19	ヨコハマオールパークス管理組合	大規模震災・洪水等の事態に備え、1,424戸もある大規模マンションのための防災マニュアルを作成し、作成後入居者への配布を行う。
20	生麦中学校ブロック 被災者支援ネットワーク実行委員会	生麦中学区内において、大規模災害時における初期対応マニュアルを作成し、併せて各拠点独自の拠点運営マニュアルが未整備の拠点に対してマニュアル作成支援を行う。